


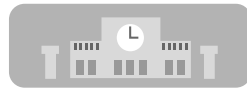

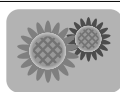














プログラム名	どこからくるの？びわこの水						
対象年齢	年少・年中・年長（3～6歳）						
ねらい	メッセージ	一滴（ひとしずく）の雨が大きな琵琶湖の一部になることに気づこう					
	発見・体感できること	<ul style="list-style-type: none"> ・雨を五感で感じる ・雨水を使ってあそぶ ・雨水の流れを知る 					
参加者のめやす	幼児 25人 / 支援者 3人						
実施時間	30分						
フィールド (実施場所)							
	森・社寺林・公園	山・里	川	湖・池	田畑・野原	園庭・公園	
実施可能時期							
自然を感じるためのヒント							
時間	活動			●配慮・アドバイス◎アレンジ			
5分	<p>①導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨水を感じる ・大きな木の下で、雨のシャワーを浴びる 			<p>●雨水を、上を向いて顔に触れたり、口を開けて食べてみたり、五感を使って感じられるような言葉かけをします。</p>  <p>雨のにおいがする。</p> <p>口の中に入った！</p>			
	<p>②グラウンドを歩く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぬかるみの中に入る ・足跡をたくさんつける 			<p>●歩いた時のぬかるみの感触を体験できるようにします。</p> <p>●静かに歩いたり、大まかに歩いたり、ドシドシ歩いたり工夫します。</p> <p>●たくさんの足跡ができ、水溜まりができていくことに気づくようにします。</p>			
20分	<p>③川作りをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道具を使わずに手や足で作る 			<p>●足跡の水たまりをつなげて、水が流れる様子を見せます。</p>  <p>あっ！水が流れてきた。</p>			

時 間	活 動	●配慮・アドバイス◎アレンジ
5分	<p>④大きな水たまり（琵琶湖）を作る ・道具（スコップ、ジョウロなど）を使う</p> <p>⑤ふりかえり ・作った琵琶湖の周りに集まる ・琵琶湖の水がどこから来るのか話し合う ・作った川や琵琶湖を元通りにする</p>	<p>●子どもたちと一緒に水たまりをつなげながら川や琵琶湖を作ってあそびます。</p> <p>◎島やダムなど、その場に存在しているものを工夫して作ってみましょう。 ◎友達と共同制作してみましょう。 ◎葉っぱや枝などの自然物で、魚や船を作り、作った琵琶湖に浮かべてあそんでみましょう。</p> <p>●雨水が川や琵琶湖になることを知らせます。 →田-10「【豆知識】水の循環」参照 川-8「【豆知識】川のはたらき」参照</p> <div data-bbox="812 891 1374 1305" data-label="Image"> </div> <p>▲完成した琵琶湖に入りました。 琵琶湖が大きいことがわかりました。</p> <p>◎お勧め絵本「しずくのぼうけん」 作：マリア・テルリコフスカ 絵：ボフダン・ブテンコ</p>
<p>【異年齢への対応】</p> <p>◆1・2歳児：泥水や泥を触ってみましょう。</p>		
<p>【園や家庭に帰ってから】</p> <p>◆実際に川から琵琶湖を見に行きましょう。（雨天時や晴天時）</p> <p>◆親子一緒に雨を感じることをしてみましょう。 （例）顔を空に向ける。口を開けて雨を食べる。</p>		
準備物・教材等	<p>・子どもたちは濡れてもよいように、カッパと長靴^はを履きます。 ・バケツ ・スコップ ・ジョウロ</p>	

